

平成21年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9.教育費	事業名	5.指導方法改善費						
項	1.教育総務費	細事業名	3.日本語適応指導事業						
目	3.教育研究指導費	担当課・係	指導課 (執行課:)						

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位:千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	2,723	要 求									2,723
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/すべての市民の人権を尊重するまちづくり/帰国子女や外国人児童生							
	【日本語適応指導に関する業務】	施策体系コード	03-01-03-40-20			事業番号	234-1			
	帰国子女や外国人児童生徒の指導方法充実のため、学校に月4回程度、 外国語の話せる日本語適応指導員を配置する。	総事業費	13,615千円			事業期間	平成18年度～平成22年度			
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度			
			2,723	2,723	2,723	2,723	2,723			
(事業実施に関する根拠法令)										

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 帰国子女や外国人児童生徒の適応指導充実の為、学校に月4回程度、 外国語の話せる日本語適応指導員を派遣し、外国人子女等のニーズ に対応する。	(事業の目的) 帰国子女や外国人児童生徒が早く日本の生活に順応し、楽しい学校生活が 遅れるように支援するため。	(事業の効果) 帰国子女や外国人児童生徒が学校生活に適応するまで、指導員によ り個別に指導することで、早い段階で学校生活になれ、通常の学習 に取組むことができるようになってきている。
(事業実施上の問題点) 毎年、多くの外国人子女が転入してくる状況があり、アジア諸国だ けでなく南米等の国からの転入もあり、言語の堪能な指導員の派遣 が難しい。	(前年度からの見直し点) 各学校の外国人子女の受入状況や子どもの適応状況により適切な指導員を 配置する。	(見積についての特記事項)